

～ 尼崎市内企業魅力発信事業 ～

活動の様子



取り組む課題

「段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新商品提案」をテーマに設定した。同社の持つ段ボール紙の表面にフルカラー印刷できる技術「からフル」を活用した商品・サービスの幅を広げたい、ということが同社の課題である。具体的には、清水ゼミ生が同社の技術や置かれた経営環境を把握し、ターゲットとなる組織や個人のニーズを分析したうえで、段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新しい商品・サービスを企画・提案することとなった。



本学(学生)の役割

清水ゼミの学生は3チームに分かれ、それぞれこの技術の持つポテンシャルを検討するとともに、12月には同社を訪問し実際の製作現場の見学も行なった。段ボールメーカー他社の事例調査などもふまえ、2024年1月15日に行なった中間報告会において、企画内容をまとめたプレゼンテーションを同社ならびに尼崎市役所の担当者へ行なうことが求められた。学生には、日ごろ学んでいるマーケティングや経営学の知識を実践して活かすことが期待されている。

企画・活動概要

尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティング活動の企画提案を行う事業である。新たに2023年10月より、段ボールメーカーのトータルパック株式会社(尼崎市平左衛門町18番地34)にご協力いただけることになり、清水ゼミ2年生の3チームが挑戦することとなった。最終報告会を行なう2024年4月までの約半年に及ぶ取り組みだが、今回の社会共創活動助成の申請はその前半期間にあたる2023年11月20日～2024年1月15日の中間報告会までのものである。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2024年1月15日に行われた中間報告会では、3チームのプレゼンテーションが行われ、同社や尼崎市役所の担当者からも多くの質問やコメントが発せられた。提案内容の中には、実際に同社で過去に検討されたものに近い内容のものもあり、その点では学生の分析が現実に即したものと評価されたが、一方ではユニークさに欠ける提案であったということもできる。2024年4月25日に予定されている最終報告会では、より市場ニーズなどに沿った提案に仕上げることが期待される。



経緯・背景・目的

当事業に清水ゼミは2015年から参画しており、毎年度異なる市内企業にご協力をいただいている。当事業に取り組むことには、尼崎市や当該企業においては高い技術力を有することや新事業に挑戦する姿勢があることなどを示して市内企業をアピールするという狙いがある。大学側においては、実際に当該企業に商品化や事業化を検討していただけるレベルの企画を提案するという、実学教育の機会を得て学生の学びの深化や成長につなげることができるというメリットがある。尼崎市役所や市内企業にも、この点をご理解いただきご協力をいただいている。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

商学部
マーケティング学科
教授
清水信年(シミスプロトシ)

<専門・担当科目等>
マーケティング論

<関係者・企業等>

尼崎市経済環境局経済部しごと支援課、
トータルパック株式会社